

満開サンデーでご機嫌ウオーク

4月1日(日)、晴天に恵まれ何と24度という5月下旬並みの陽気の中を、今や恒例行事となった5回目の「花見ウオーク」が行われた。

今冬は世界的な暖冬で種々の草花が早く目覚め、桜の開花も早いだろうと予測されていたが、幸い2月に入り冬らしい寒さが戻り桜の訪れはきちんと帳尻を合わせてくれて、まさに満開サンデーとなった。2年前には全く開花しない中を「花より団子」と負け惜しみを言いながら決行したが、やはり満開の桜を愛でながら歩きたいのが本音だ。

北浦和バスターミナルを10時に出発。先ず市立病院の豪華な古木桜(写真)に感嘆し、見沼用水の水辺を飾る桜並木をウオーク。見事な桜の下には花桃・レンギョウ・コブシ等々が咲き誇り見沼田圃は正に花の宝庫。1時間ほどで家族ずれや花見客で賑わう見沼氷川公園に到着、小憩ののち必見ポイントの明の星学園に、ここは学園の桜と土手桜がアーチを描き絶景そのもの。

途中絶好な花見日和に誘われてか散策の人達が一気に増え、偶然にも大宮高OBウオーキングの方々をはじめ数人の知人に出会う事が出来た。

小松原学園で折り返し芝川を北上、「くらしの博物館」に到着。早速庭の芝生でお楽しみ的小宴会となったが、黒ラベルのウイスキー・35度の焼酎が登場し相変わらずの盛り上がり。最後は旨い蕎麦を食べさせる「越後屋」で完歩を祝し乾杯。歩いた後の美酒で会話を楽しみながら予定通り4時に散会となった。

今回の歩行距離は約8km、参加メンバーは例年より4人程少なく、五十嵐・半田・榎本・結城・佐々木の皆さんと私の6人でした。

村田 潔 (10回)

